

城北コミュニティセンター 市長と語る会

日 時：令和7年10月29日（水） 午後1時30分～3時

場 所：城北コミュニティセンター

参加者：14名

担当者：市長、地域担当職員 治郎座（庶務課）、原（下水道課）、
鳥井、奥田（秘書課）

1. あいさつ

（事務局長）

令和7年度「みんなでまちづくり。市長と語る会」を開催する。最初に城北コミュニティ会長からご挨拶申し上げます。

（会長）

今年もいろいろと相談にのっていただけるということで、事前に4つの提言項目を提出している。すぐにできるもの、できないものがあると思うが、長年継続して審議しているものについても実際に困っていることが多々あり、城北としてまちなかゆえに逆でないものもたくさんある。各担当からお願いすると思うので、ひとつよろしくお願ひしたい。

（市長）

最近の市政報告も簡単にしたい。まずは、城北コミュニティの皆様には、砂本会長をはじめとして丸亀市政にご理解、ご支援いただきありがたく思っている。

今の丸亀市は人口減少時代に完全に入っており、日本全体で人口が減っている中、四国も減少が進んでいる地方の一つである。その中でも、丸亀市の人口は減り方が大変緩やかである。これは、先日市議会で行った勉強会で講師を務めた香川大学の先生からの話である。関係人口等が多く、丸亀に仕事などで流入している方も多くいるとのことで、全国的に人口が減っている中でも良い方であるとのこと。しかし、人口減少は現実なので、少しでも緩やかになるように、少しでも上向くように私は取り組んでいこうと思っている。

こういった中で、うれしく感じていることをお話ししたい。塩飽諸島の広島で16年ぶりに小学校・中学校が再開した。これは、小学生3人中学生1人の2家族が移住してきたことに伴うもので、島民の方はまち全体が明るくなったと大変喜んでいる。私も入学式・開校式に参加し、子どもたちが良い顔をしているのを見てきたところだ。

7月20日には、市民球場でプロ野球のフレッシュオールスターゲームが行われた。私も1年前にプロ野球機構に行って丸亀の市民球場と野球熱をPRしてきた。その日は8,700～8,800人の来場があり、おそらく過去一番の来場者数であったのではないかと。残念だったのは、8名いる香川出身の選手がケガ等で出られなかったこと。しかし、あの野球場ができて10周年になるが、市民球場をつくったときにはここからプロ野球選手を出そうと、「start for MAJOR」をコンセプトにしてきた。この10年間で8名のプロ野球選手がでており、現在日本ハムファイターズの一軍で活躍している城西高校出身の水野選手や西武ライオンズのキャッチャーの古市選手なども高校野球で使っていた。こうした中でフレッシュオール

スターが開催できたことは非常にうれしかった。

また、先日はブルーインパルスが飛行し、丸亀城から大勢の方が見る事ができた。私は、善通寺の駐屯地の式典に行っており、そこではドクターヘリの出動などもあり見られなかったが、多くの市民の方に喜んでいただけた。

それと、11月21日、22日に「丸亀うどん祭り2025」が初開催される。丸亀市が主催で3年前から、トリドールホールディングス、丸亀製麺と準備を進めてきた。当日は、上戸彩さん、要潤さん、中野美奈子さんほか芸能人や地元や全国のうどん職人が参加します。2日間に渡り、うどんの祭りを開催するので楽しみにしてほしい。

来年には、数年前から準備してきた男女共同参画の全国大会、そして、全国連合自治会の全国大会もシアターマドで開催される。こういった形で、丸亀市は関係人口をどんどん増やしている。これも市民の皆さんが中心になっていろいろと協力してくださっているからだと思っている。本日は忌憚のないご意見を言っていただければ、しっかり記録し、担当課にも指示をしていくので、よろしくお願ひしたい。

2. 意見交換

(事務局長)

それでは提言書に基づき順次質問・提言を進めていく。最初に東汐入川けんこう公園の日除け設備を設置する件について。

(所長)

ここ数年の地球温暖化の影響で著しく気温は上昇しており、今年は37度を超える真夏日や40度を超える危険な猛暑日があり、こうした状況は地域だけでは対応できず、市と連携しながら暑さ対策に取り組む必要が高まっている。こうした中、2019年より継続要望している日除け設備について、去年、試験的に1か所ベンチに日除けテントを設置してもらったことに感謝申し上げる。当該公園は、防災設備も整備されており地域外からも人が来る人気の施設であるが現在多くの来園者に十分に対応できていない。公園の西南には広い空いたスペースがあるので、カタログで提示した日除け設備は費用が必要であるが、今後の気象変動や子どもたちの安全で快適な利用環境を考える上で有意義な投資であると考えている。ぜひとも将来を見据えて設置をご検討ください。なお、令和5年11月29日付で本件に関する要望書を提出させていただいているので併せて確認をお願いする。

去年ベンチのところにとつ日よけをつけてくれたものの、役にたたないとまでは言わないが、あまり効果はない。南に広いスペースがあるので、このスペースに、球場の東に四国化成が設置したようなものを設置いただけるよう提案する。いろんなところから提案もあると聞いているが、この日よけは必要性が高く優先度が高いと考えている。日陰がないことは非常に困っており、簡易的でもいいので、強い風に耐えられるものを設置して欲しい。市長より、公園を順次作っていると聞き、それもいいと思うが、今あるものをきちんとすることで、次作るものが作りやすいと思うので、子どものために真剣に考えていただきたい。

(市長)

東汐入川けんこう公園は、市内外のたくさんの方にご利用いただき、大成功している公園と認識している。所長からも話があったように、2019年から要望をいただいて、令和6年度に対応できたのが小さなテント一つであるが、これにも費用が90万円以上かかっている。近年の気候変動に伴う温暖化により、利用者の安全安心につながる夏場の日除け対策が重要であると市としても認識している。地元からの声も踏まえて検討するよう指示はしているが、莫大な費用がかかる。野球場もアーバンスポーツパークにも十分に日よけを設置できておらず、この施設以外にも影が少ないところがたくさんあるのが実状だ。

私が市長として手掛けた一つがボートレース場の横のグリーンとモーヴィという施設がある。これはボートレースの社会貢献の一環として子どもの遊び場を作ろうという発想であり、子どもをほったらかしにしてボートレース場に行ってはならないというルールを作っている。この施設はボートレースのほうで運営資金も出して、土日は予約制にする、CMも必要なくなるなど大成功している。

私が作りたいと思っている公園は、各コミュニティが管理する公園である。現在、市内にある公園は禁止事項が多く、ボール遊び、花火、バーベキューなどができないなど、禁止事項が多いために使われずに草ぼうぼうになっているところも見られる。こういった状況を踏まえて、どうしたらより自由度の高い公園になるのかと考えると、地元のコミュニティの方々が管理しルールを決める公園にすれば良いのではないかと。市がやるとどうしても危険ではないかという声ができれば禁止という方向にいかざるを得ない。すでに出来上がったのは、飯山南コミュニティの隣の公園。国道438号線工事にあたってのコミュニティセンター移転・建替えと合わせて隣にコミュニティが管理する公園を作った。その後に、コミュニティ管理をする公園をつくりたいということで、郡家地区の公園整備が進んでいる。場所は、コミュニティセンターと離れたところになるが、もう少しで工事に入る。その次に城南が控えており、栗熊や川西からも要望が上がってきている。このような状況もあり、予算の確保が一番の課題となるが、けんこう公園の日除けの要望は、暑さ対策の必要性からも、引き続き検討を指示する。

(所長)

けんこう公園は防災公園としても非常に重要な場所であるため、それも考えていただいて、機会や予算を見て進めてもらいたい。予算はあるとおもうので、やりくりを上手にすればいいのではないかと。

(市長)

簡単に財政状況を説明する。ボートレースは好調で3年連続90億円ずつ市に繰り入れをしていただいている。ただ、いま鉄筋コンクリートの学校施設などが築50年を迎え、建て替え工事を行っている。これは、教室が足りない、施設がボロボロ、雨漏り、といった状況の中でも、私の就任前の話にはなるが、ここ数年修繕に手をつけてこなかったつけが来ている。私が就任してからは、学校関係は全部やっぺいこうということでトイレを全部直し、体育館へのエアコンの取り付けも進めている。今年は14校に190億円の予算をかけ、市民会館の最後の支払いが80億円あり、270億円を超えるため、ボートレースの3年分の繰入金なくなる状況だ。

(所長)

それなら、丸亀市が作らなくても、四国化成が球場の屋根を作ったように、ボートレース場に地域のために協力してもらおうなど、いろんな方策を考えてほしい。

(市長)

そういうことも考えたが、行政は融通の利かないところがある。けんこう公園の屋根も費用をねん出する理由や、担当課が予算を確保して私のところに決裁が上がってくるまでにくつかのハードルがある。なかなか思うようにはならない。

(男性)

いろいろ考えてもらったらできないことはないと思う。やる気があればできる。

(会長)

野球場のような命名権やスポンサー契約はどうか。例えば、ボートレース場が命名権を取ってスポンサーとしてお金を出すなど。先ほど何十億円という話があり、学校にもかなりのお金を入れているという話もあった。それに一度にすべて投入するのではなく、一部を実際に必要なものにまわしても良いのではないか。何億ではなく何百万円かの話なので。

(市長)

4～5千万くらいかけないと、けんこう公園の日陰はできない

(会長)

一気に作らず、毎年少しずつでも良い。今回も市議に言ってやっと一つできた。

(市長)

私のところに決裁が上がってくるまでの過程でどんどんそぎ落とされて、さらに私のところでも落としている。担当課がどれだけ熱意をもって上手に説明するかにかかってくるが、私も精査する立場にある。やはり、必要性について地域の意向を後押しするのは市議の皆さんであると思う。私もこの会でいただいた意見を担当にも伝えて検討指示はしているものの、担当課としても予算や必要性から検討したうえで予算要望としてあげてきている。お金さえあればできるのだがそれも難しい。

さきほど大きな繰入金の話がでた。義務教育にかかわる部分は最優先で、借金してでもやるべきと考えているが、ボートレースの繰入だけでは足りない状況でもある中、国からの交付金も段取りしながら徹底的にやっていく。こうした学校施設は、一度手をつけると途中でやめることは不可能であり、その一部の数千万円をこちらの施設にまわすということはない。また、お城の北側の中心市街地活性化においても、国土交通省から交付金をもらいながら進めており、国の方にも丸亀のまちを見てもらい、理解をいただきながらやっている。今後の人口減少を踏まえ、思うようにいかないこともある中で工夫してやっている。

(所長)

承知した。

(事務局長)

この件については、引き続き城北コミュニティとしても要望していく。

(事務局長)

二つ目の移動支援運転手の確保について、簡単に説明する。

城北コミュニティでもお買い物支援事業にとどまらず、病院、銭湯への送り迎えを行っているが、運転手の高齢化で事業の継続が難しくなっている。本年6月の市議会において、運転手確保のためにお出かけ便の紹介としてパンフレットや動画作成、報酬支給、デマンド交通の検証といった話があった。その現状説明をしてもらいたい。また、現在の保険制度の充実などについて検討を要望したい。

(市長)

まちなかの人も困っており、デマンド交通についてここでやれたら良いなどは考える。ただ、全国的にみても本当に不便なところでやっているのも実態としてある。それで郡家で実証実験を行ってはみたが、なかなかうまくいかなかった。現在は栗熊、富熊で社会実験を行っている。郡家では、スマートフォンを使ったデジタルの申込ができない人が多く、AIシステムの費用等にも課題があったため、その反省を踏まえて今回の栗熊、富熊では電話受付の簡単な形とすることとしている。また、お出かけ便を知ってもらうためにパンフレットや動画を作っていると担当である高齢者支援課から聞いている。制度を知ること、ボランティアに手を挙げる人が出ることを期待しており、SNSやマルタスなども活用して、少しでも情報が伝わるようやっていく。報酬については、現在1回500円。営利目的では国の認可が下りないのだが、安すぎると思うので、検討を指示したところだ。法律的に報酬は難しいのか？

(秘書課 鳥井)

お出かけ便では、ガソリン代相当の片道100円、往復200円程度を利用者負担とし、各コミュニティから報酬として運転ボランティアに500円を目安に支払っている形だと思う。

有償運送となると、タクシー会社と同じように国に登録して、講習や責任者の配置等、運行するコミュニティ側に負担が生じる形になってしまう。このため、報酬をいくらにするのかということはそのバランス、市からコミュニティにお渡ししている補助金との兼ね合いで検討する必要があると担当から聞いている。市長からの指示で検討に入っているので、その動向を見守ってほしい。

(会長)

城北コミュニティの運用では、利用が何件あっても1日拘束としているため、昼食代ということで500円をねん出した。名目を変えれば何とかなるのではという気もするが。運転手の方が少ないということで、議員の方が運転手をする所も増えていると聞く。

(市長)

それは承知している。

(男性)

新たに参加してくれる女性の市議にも運転手の講習を受けてもらうが、地元でないため地理が分からないので助手席で覚えてもらっている。皆さんやる気はあって、ボランティアと承知で受けてくれており、それはありがたい。

(市長)

一日拘束であれば、お弁当代で出してもいいかと思う。

(秘書課 鳥井)

報酬を含めて、お金の取り扱いについては、この運行の担当である地域包括支援センター

に普段ご相談いただいていると思うが、取り扱いを誤って客観的に有償運送ととらえられることがあってもいけない。引き続き、担当課に相談しながら運用していただきたい。

(所長)

運転手のなり手が無いのは報酬額だけが要因ではなく、交通事故が起こった時の対応。大きな保険に入っていたとしても心配ではある。やはり、社会実験をしている富熊、栗熊のようにプロのドライバーにさせていただくのが安心だ。

(市長)

保険については担当課に確認しているので報告させていただく。

(秘書課 鳥井)

ご質問に「今の制度で20万円程度の補償で大丈夫なのか？」とある。

普段、高齢者支援課の実施マニュアルを参考にさせていただいていると思うが、「補助金の限度額35万円。うち20万円程度を保険分」という書き方である。高齢者支援課に確認したところ、35万円の中であれば、保険金額が20万円を超えても差し支えない、20万円という金額はあくまで目安としてお示ししており、返還金が生じているこの地区においては、運転手さんに安心していただけるよう保険金を手厚くさせていただいても問題ないということだ。そういう形で対応いただいても良いかと。

(男性)

私も以前運転手をしていたが、「70歳を超えて他人を乗せて運転する」のを子どもから反対されてやめた。専門の運転手とボランティアとで技術が違う上に、運転免許証を返納しなさいと言われる年代の人に運転手をさせるという、市の方針が今一つ分からない。高齢者による交通事故が増えているなかで、70歳や75歳の人が運転することを市が認めていること自体が大きな問題と思う。城南コミュニティでも、事故が起きた場合の対応方法がもう一つはっきりしないので、運転をやりたくないと言われたようだ。

(市長)

お出かけ便は、高齢者であって様々なお考えから免許返納をしようという人をお願いしようというものではもちろんなくて、安全に運転できる能力や時間があって、週に何回かでも車の運転をしても良いという方が一定数いるだろうという考えではじめているものの、実際は運転手に手が挙がっておらず、コミュニティ運営に携わっている方々で運転をいただいているのだと思う。仕事を引退しても、まだまだ元気で運転ができる方はおられ、そういった方でお出かけ便事業をしらない方も多くいると思うので、市としては、事業の広報を行っていくということだ。市として、免許返納を検討している方に運転手をして欲しいわけではないことはご理解いただきたい。

(事務局長)

それでは、報酬のことは検討の余地があり、保険その他についても理解した。

(男性)

続きまして防犯カメラ設置補助金の継続について

(男性)

城北コミュニティ五か年計画の基本計画の中に、「地域住民の安心安全の確保」というのがあり、それを実施するために防犯カメラの設置というのは重要課題にしている。昨年、防

犯カメラの設置費用 50%を補助が市からの通知であり、富士見町で申し込みし、決まった。富士見町では現在、防犯カメラの設置の準備を進めている。犯罪、交通事故のない安心な暮らしを目指すということで、今後についても防犯カメラの設置の 50%補助金の継続を要望する。現在、コミュニティとして、年に 2ヶ所程度の設置を募集し、コミュニティでも一部、支援金を出すことを検討しているため、市の方でも継続について支援いただきたい。

(市長)

丸亀市では、香川県の防犯カメラ設置補助制度を活用して、市・コミュニティが一体となった防犯対策として防犯カメラの設置を推進している。防犯カメラを設置することで、犯罪抑止や事件解決が期待される。心理的に犯罪者もカメラの存在で犯罪を起こす気にならないらしい。それが、市民生活の安心につながっていると市としても考えており、令和 8 年度も地元自治会の協力のもと防犯カメラの設置を支援していきたいと考えている。

香川県に対して予算付けの要望を出しており、担当課としても自治会から要望の防犯カメラを設置できるように働きかけている。

(男性)

よろしく願います。

(会長)

一年位前に、警察官から防犯カメラに映った人物の照会があった。「土器川の向こうに写っていた人物が、橋を渡ったこちら側にきたらカメラがないのでわからない。会長さんわかりますか？」と。犯罪抑止のためには必要なものなのでお願いしたい。

(事務局長)

最後に、ボートレース場にスーパー銭湯を設置することについて

(男性)

これは、ひとつの手段としてお示ししたもので、市内の入浴施設がない人について、なんとかできないかと提案したものだ。現在、市内には銭湯がないため、市から入浴券を交付されている人は、ぼかぼか温泉を利用している。68 歳以上の方で、城北地区は 20 名が市から入浴券を支給されているが、それ以外の入浴券の交付対象でない人でも、市内に銭湯がないため、四国健康村など、いろんなところに行きながら生活している。ボートレース場にとするのは、ボートレースの宣伝も兼ねて設置を考えたものだが、それでなくとも、市内に入浴施設があれば、高齢者が簡単に行けるようになると思う。坂出には柳湯という銭湯があり、多度津には社会福祉協議会の施設の中に入浴施設があり、300 円くらいで利用できる。

丸亀には南の方にはあるが、街中で利用できる施設がない。夏の暑い時期に入浴できないのは厳しいと思うので、近くにあれば、という提案である。

(市長)

これもずっとご要望いただいている。ボートレース場には以前から話を聞いているのだが、いまのところ正直難しい。鳴門ボートには敷地内に入浴施設があるのだが。

(所長)

いい施設だ。新しい舟券売り場の中に計画すればよかった。

(市長)

その前から銭湯の話は出ていた。

(男性)

議会の一般質問で、城北のお風呂がないのでコミュニティセンターにシャワー室をつけてはどうかと議員から出ていたが、それは難しいのではないかと考えている。

(市長)

入浴施設は難しい。鳴門の場合は、ボートレース場ではなく別の会社が運営している。運営会社に対応してくれるなら別であり、誘致できるのだが、現時点でそうした話はない。

(男性)

B & Gがそうした施設を作っていると思うが、B & Gとのかかわりは？

(市長)

B & Gはボートレース場の恩恵を受けていない地域に施設を設置している。

(男性)

モーヴィは？

(市長)

あれは社会貢献の一環の子どもの遊び場として、ボートレース場が作ったもので、営利目的の施設ではない。

(男性)

B & Gは、ボートレース場の恩恵を受けていない綾上や高瀬に作っているということか。規模は大きくなくとも、作ってもらわないとお風呂がない方は困っている。

(市長)

行政が入浴施設の経営をするというのは、難しい。

(男性)

丸亀市福祉事業団とは、かかわりがいいのか？

(市長)

市の施設で入浴施設は、飯山総合保健福祉センター、綾歌の湯舟道があるが、どちらも保健福祉関係の施設だったと思う。湯舟道の方は一般利用者もある。

(男性)

行政がかかわるのであれば、福祉とかそういう施設のイメージ。

(会長)

クリントピアの南側の空き地は計画に入らないのか？クリントピアで燃やしている熱がお風呂に使いやすいと思うのだが。あれは丸亀市の市有地か。

(市長)

そうだ。建設計画当初に、焼却施設と温水プール、温浴施設をとっていたができなかった。反対運動があったと聞いている。

(事務局長)

地元としては、温浴施設の併設が条件で焼却施設を受け入れたが、建設過程で市からできないと聞かされた。

(市長)

反対された方が多かったと聞いている。

(事務局長)

焼却施設は反対があったが、温浴施設などを合わせて作るというのが市側の提案だった。

(市長)

あの土地を埋め立てるときの廃棄物や建設費など、課題があったのだと思う。

塩漬けになっている土地を少しずつでも土地改良した方がいいだろうという話しもあったが、用途がない土地に何百億円とかける必要はないだろうと言われている。

(事務局長)

会長が言っているのは、そこへ作ってくれということではなくて、ボートレース場の横であればそう建設費もかからないのでどうかということだ。

(市長)

温浴施設は運営費や維持費など、多くのお金がかかるという課題がある。

(会長)

お出かけ便のぼかぼか温泉への送迎を今年から増やした。通常1時間での迎えのところ、ぼかぼか温泉だけは1時間半でのお迎えとして、利用者には喜ばれている。お年寄りにとっては、冬は体が温まるし、夏はさっぱりすると、市からの入浴券をすぐに使い切るくらい利用している。買い物にしても必ず火曜日・金曜日に予約する人がいる。

(市長)

デマンド交通はかなりの費用が掛かるので、私としてはタクシーチケットという方法もあるのではと思っている。デマンド交通は、国が推奨する全国的なものであるので、丸亀市としても効果があがるように取り組んでいるが、はじまったばかりなのでどういう結果になるか分からない。私としては、タクシーチケットをうまく配布できるような仕組みについても今年初めに担当課に検討を指示している。それがどのような形であがってくるかは全く見えていない。ただ、お風呂を作るのは現実的ではなく、ボートレースからもそれは勘弁してほしいと回答を得ている。誘致ということもあるが、企業としても鳴門ボートの入浴施設のように、集客・利益が見込めなければできない。今の時点では、その程度の答弁しかできない。

(男性)

ぼかぼか温泉は、城北コミュニティセンターから3.7キロ離れていて、買い物支援を利用している人のほとんどは自転車や徒歩で行っている。かなりの距離で、交通事故の不安もあるので、できるだけ近くに入浴施設をと毎年要望している。ここからボートレース場までは1キロ。ぼかぼか温泉まで自転車などで行っている方は、自分のペースで行きたいという希望があるので、そうしているがなかなか大変だ。

特に城北地区は高齢化率が高いので、入浴施設があれば利用したい人は多くいると思う。

(市長)

引き続き検討する。民間企業でどこかお風呂をやってくれるところがあればいいのだがやはり採算の面で難しい。

(所長)

市長と語る会が今年から2年に1回になっている。今日の4つの要望を担当課にしっかり伝えてもらって、担当課の方からこちらへ足を運んでもらいたい。そういうやりとりをしないことには言いつばなしになってしまう。

(市長)

本日の話は全て議事録を取って、担当へ引き継ぐ。

(男性)

もっと担当に動いてほしい。

3、その他の要望など

(女性)

本日の4つの提言ではないのですが、けんこう公園の駐車場が17時に閉まる件についてです。今は早く暗くなるので17時に閉まるのでいいが、4月、5月の明るい時間が長い時期は18時ぐらいまで開けておいてほしい。明るくても17時になると閉めるので帰ってくださいと公園を管理している方が利用者に言う。時候にあわせて18時ぐらいまでは開けて欲しいと思う。

(市長)

夏だったら19時、20時でもいいような気がしますね。

(女性)

そこまでは言わないが、こども園からの帰りに子どもが滑り台で遊んでいても、17時になったから車を出さないといけないとなる。と

(市長)

それは、公園ができた時から？

(女性)

冬の間は17時でも良いが、時候のいい4月末頃は18時ぐらいまで開けておいてほしい。

あと、これから公園をつくるうえで知っておいてほしいことがある。けんこう公園の滑り台は全部ステンレス製なので、夏場は暑くてやけどするくらいだ。錆びないのだろうが、夏に使えないのは子どもがかわいそう。次に新しい公園を作る際には考えてほしい。

(市長)

金属製の遊具はキンキンに熱くなる。議員さんからも聞いている。

(女性)

けんこう公園では、夏場は遊具を使えません。

(男性)

はじめは、けんこう公園が17時に閉まるので早いなあと思ったが、最近子どもたちは17時の鐘が鳴ると、ぴったり帰る。子どもが家に帰らないといけないなど、帰るうでのひとつの目安にしているのかと最近思う。確かに利用する人にとっては17時にポールがたってしまうのは不便かもしれない。

(女性)

時候のいい時期だけでもちょっと延ばしてくれたら。

(所長)

これ、駐車場を解放しっ放しだとまた問題が出る。

(市長)

僕は開放していてもいいと思います。これも要望を出しておいて、記録を取っていますので。ずっと車を放置するような感じの駐車場でもないですよ。

(男性)

まあ利用するのは近くに住んでいる方ですよ。無料の駐車場ができたと停める。

(秘書課 鳥井)

たぶんそういう懸念などもあっての閉めるという判断だと思われる。それこそ、近所の人や若い人がバイクなどでたむろした時に、だれが注意をしに行くのかという問題出てくるのでは。現状の閉めている状態からは、開けた方がいいと考えてしまうのだが、開けたら開けたで別の問題が出る可能性がある。誰が管理をするのか、という事とセットで出てくるのでそこは慎重に考えなければならないと思う。

(男性)

季節によって閉める時間を変えるのはすぐにできるだろう。

(秘書課 鳥井)

担当ではないのではっきりとは申し上げられないが、公園の管理者との間で、この期間、何時から何時までという形で運用や費用が決められていると思うので、すぐにどうこうできないと思われる。本日いただいた話は市長から担当課へ伝える。

(男性)

一応試しに開放したらどうか、としてどんな結果になるという

(市長)

丸亀城の場内グラウンドもあそこも 17 時だ。

(男性)

城北小学校の校長先生が 17 時になったら帰るように指導しているので、17 時になったら小学生は帰宅する。そのために時計をつけている。

(男性)

駐車場は試しに 1 年間くらい開放してみても良いのではないか。何十人も来ないし、来ても 1 台 1～2 人くらいと考える。

(市長)

廃車するような車を放置されると撤去できない。公の場所に持ち主のわかっている車を放置されて、いくら撤去を頼んでも動かしてもらえず、市が廃車にすることも法律的にできず十数年放置されたという事例がある。これは最後には裁判になった。

(事務局長)

予定の時間が来ましたので、このあたりで。今後も検討いただける事例もありますので引き続きよろしく願います。

(副会長)

高齢の方と話すことが多く、通院の際の医療費よりもタクシー代が高いのが辛いとよく聞く。先ほど市長が言ったようにタクシーチケットが配布されるとありがたい。検討をよろしく願います。

(市長)

担当課に指示をしている。

(男性)

宇多津町は配布している。

(市長)

タクシーチケットを出している自治体はよくある。丸亀市はデマンド交通を実験している。

(女性)

それは利用できない人が多くいますので、よろしく願います。

本日はお忙しいところありがとうございました。